

とくほん ほんはともたち

やすとしょかん

ほんかん
ちゅううずぶんか
ん

でんわ.077-586-0218
でんわ 077-589-3382

FAX.077-587-5976

2025年12月 (No. 40)

ねん
5-6年
むけ

としょかんのホームページ
<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>



さむ～い冬は、おへやでぬくぬく本を読もう。

としょかん

図書館には、おもしろい本がたくさんあるよ♪



12・1がつのとしょかんカレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
	12/8	9	10	11	12	13 ★
14	15	16	17	18	19	20
21 ★	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24



しぜんしゃしんか
自然写真家

いいむらしげき
飯村茂樹さん講演会

『自然と遊び自然を撮る』

1/17 (土) 午後2時～ 場所：ホール

★写真パネル展示★

『滋賀で見つけた自然』

12/23 (火)～1/20 (火)

野洲でとられた写真のパネルも
あります♪

くろいところ としょかん
■ :図書館がお休みの日

☆☆図書館の開館時間☆☆

【本館】 午前10時～午後6時

【中主分館】 午前10時～午後5時15分

★おはなし会★

12/13(土)

すぐぼんじょ「おはなし」のおはなし会

午後3時～ 場所：おはなしコーナー

12/21(日)

クリスマスおはなし会

午後2時30分～ 場所：ホール



生き物たちのみりょくや、とられた
しゃしん 写真についてのおはなしです。

※おはなしをききたい人は、
もうしこみをしてください。



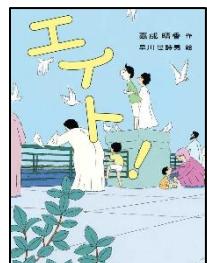
～あたらしくはいったほん～

『エイト！』
かなりはるか さくはやかわ よしお
嘉成晴香/作 早川世詩男/絵

(あかね書房)

K913/か

5年生になってからは一回も
学校に行っていない。なんで
行けないのか自分でもよくわ
からない。そんなぼくが、日
ほんごきょうし 本語教師をして
いる母と一緒に
にしばらくエジプトで暮らす
ことになって…。





冬に読みたい！おすすめの本



『みんなで描こう！黒板アート』

すずきらな/著 子供の科学編集部/編
(誠文堂新光社) K725

教室の中心にある黒板に、チョークで色付けをして作品が生まれる「黒板アート」。必要な道具から基本テクニック、いろいろな文字の書き方、モチーフ・背景の書き方、構図までを紹介する。卒業式・文化祭などでもまねしたくなるアイデアが満載！



『雪の日にライオンを見に行く』

志津栄子/作 くまおり純/絵 (講談社) K913/シス

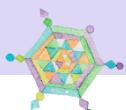
物心ついた時から母さんと二人暮らしだった唯人。何をするにも自信がなく、話すのも苦手。それでも唯人は、この学年の中でときどき聞こえてくる「そういうやつがおってもええ」という言葉に救われていた。五年生の秋、転校生の梓がやってくる。彼女は、クラスになじもうとしなくて…。



『ぼくは川のように話す』

ジョーダン・スコット/文 シドニー・スマス/絵
原田 勝/訳 (偕成社) E/ホ

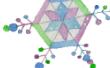
「朝、目をさますといつも、ぼくのまわりにはことばの音だらけ。そして、ぼくには、うまく言えない音がある。」学校のみんなのようにうまく話せなくて落ち込んでいるぼくを、お父さんは川へつれていってくれて…。吃音をもつ詩人の実体験をもとにした絵本。



『アサギをよぶ声』 *シリーズあり

森川成美/作 スカイエマ/絵 (偕成社) K913/モリ

アサギの村では12歳になると、女の子は女屋に、男の子は男屋にはいる。女たちは、結婚のための準備をし、一方、男たちは、村を守る戦士に選ばれるための修行に励む。女でありながら戦士になりたいアサギは、おきてやぶを破って、ハヤという戦士から教えを受けようとするのだが…。

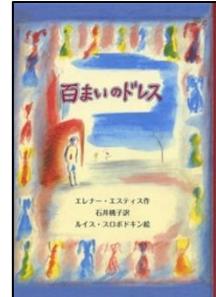


他にも図書館にはおもしろい本がいっぱいあります！
ぜひ、図書館に来て、お気に入りの1冊を見つけてください…

『百まいのドレス』

エレナー・エスティス/作 石井桃子/訳
ルイス・スロボドキン/絵 (岩波書店) K933/エス

貧しいワンダは友達ができず、いつもひとり。ある朝、ワンダが、いつも同じ服を着ているのに「ドレスを100まい持ってる」と言ったことから、女の子達にからかわれるようになります。マデラインは、ワンダがかわいそうと思いながらも何もできなくて…。



『十一月のマーブル』

戸森しるこ/著 (講談社) K913/トモ

六年生の波楽は、お母さんと血がつながっていない。波楽を産んだ人は、8年前に亡くなっているらしい。でも、今のお母さんは大好きだし、妹も好きだ。けれど、どうしても気になることがあって…。とうさんの書斎で見つけた一枚の葉書をもとに、友だちと家族との「つながり」を探しに行く物語。



『ぼくのたった一つのミス 1 SNS/AI編』

藤圭/文 中島花野/絵 高橋暁子/監修

(岩崎書店) K007 *シリーズあり
「自撮りアップで危険度アップ」「投稿写真によるストーカー」「悪ノリしたら大騒動」…。実際に現実で起こった事件を元に、SNSやAIの使い方で起きた様々なお話を解説とともに紹介。シリーズで「ゲーム編」「検索エンジン/アプリ編」があります。



『こどもとできるやさしい金継ぎ』

ナカムラクニオ/著 (ホーム社) K751

壊れた器をうるしで接着し、継ぎ目を金、銀、朱色などでかざる日本の伝統的な修理技法、金継ぎ。こどもとおとなが一緒に金継ぎを楽しめるように、あついやすい材料を使ってなおす方法を写真で紹介します。大切な器を何回でもなおして、ずっとずっと使ってみよう！



他にも図書館にはおもしろい本がいっぱいあります！

ぜひ、図書館に来て、お気に入りの1冊を見つけてください…

